Part 2

CHAPTER 22

GoogleMapと連携する

アプリケーションの複製を作成する

01 「Chapter 1」にて作成した「Employee」アプリケーションをクリックする。

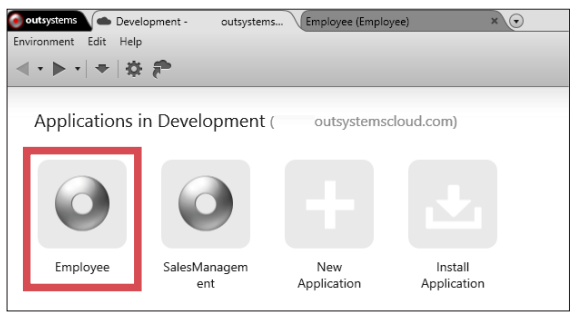
02 「Employee」アプリケーションモジュールをクリックする。

03 メニューバーから「Module」>「Clone」を選択する。

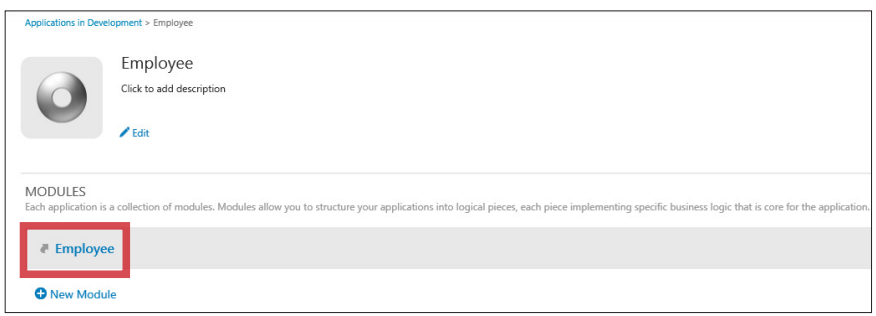
04 出現したダイアログの「CLOSE」ボタンをクリックする。

05 Interfaceレイヤを開き、複製されたApplication Moduleの名前を「CloneOf Employee」から「Employee_22」に変更する。

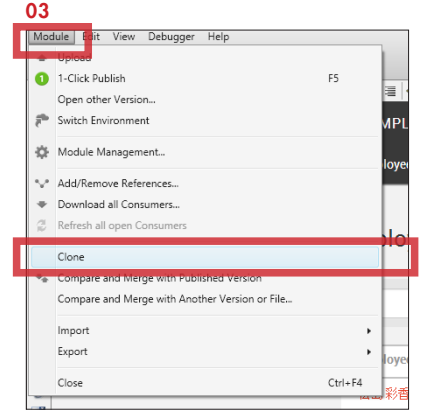
01



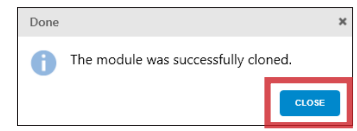
02



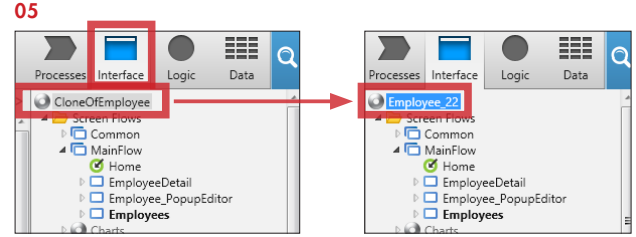
03



04



05



Google Static Maps APIをインストールする

01 Outsystemsタブをクリックして開く。

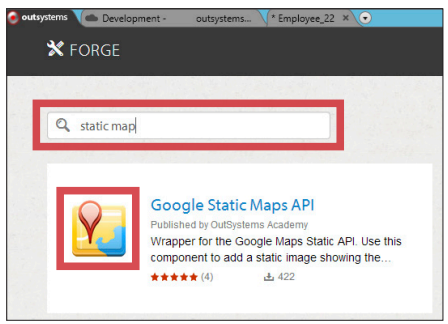
02 検索ボックスに「static map」と入力し、表示されたアイコンを開く。

03 「INSTALL...」をクリックする。

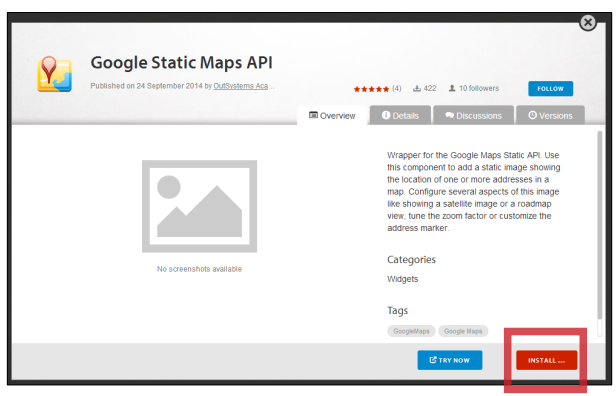
04 インストール準備ができると「INSTALL」ボタンが現れるのでクリックする。

05 インストールが完了するとアプリケーションの一覧画面に表示されます。

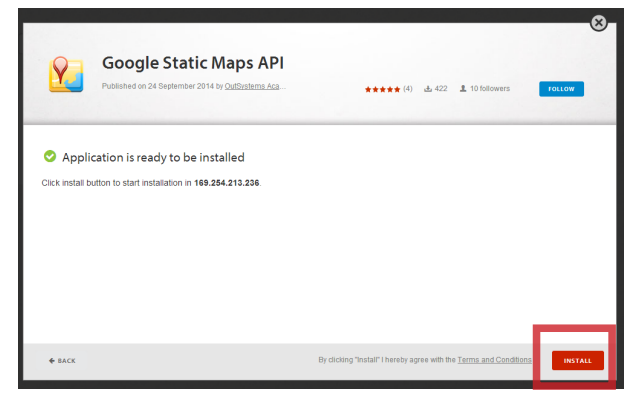
01・02



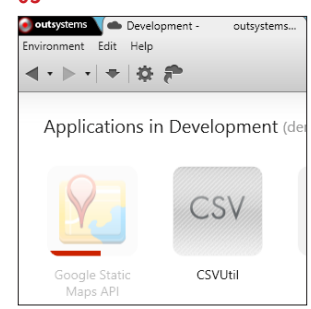
03

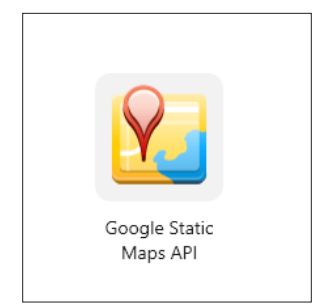


04



05





Google Static Map APIを追加する

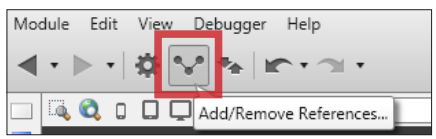
01 「Employee_22」アプリケーション上で「参照の追加と削除」をクリックする。

02 左上の検索ボックスに「google」と入力する。

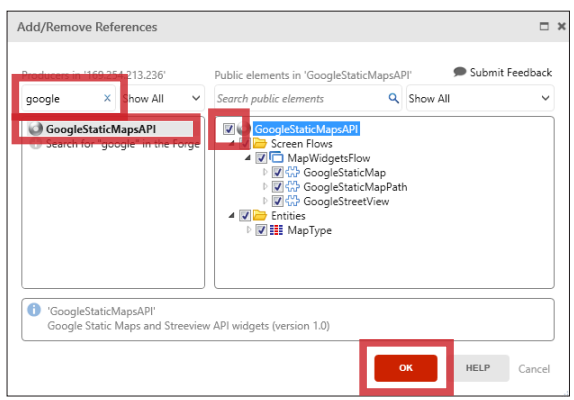
03 左側に「GoogleStaticMapsAPI」が表示されるので、クリックする。

04 右側のチェックボックスをすべて選択し、「OK」をクリックする。

01



02・03・04



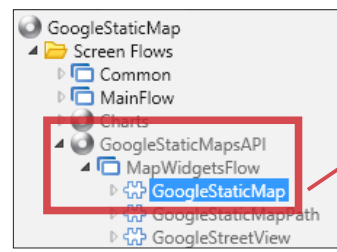
Google Static Map APIを画面に表示する

01 Interfaceレイヤを開き、「EmployeeDetail」画面を開く。

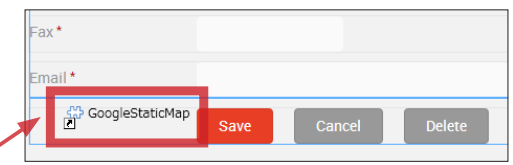
02 Screen Flows > GoogleStaticMapsAPI > MapWidgetsFlow を開く。

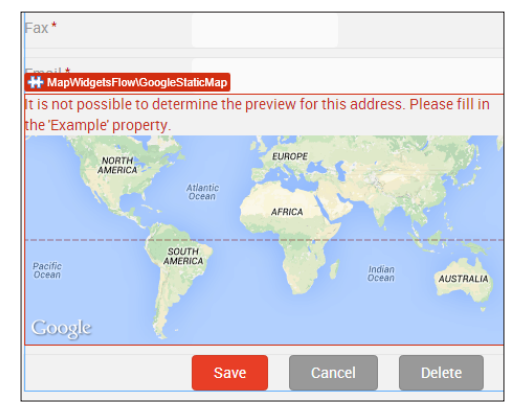
03 「GoogleStaticMap」WebBlockをEmailの下にドロップする。

02



03



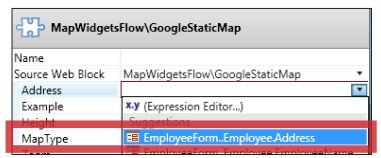


サンプルデータを表示する

01 GoogleStaticMapのプロパティ、Addressに「EmployeeForm.Employee.Address」を設定する。

02 Exampleに実在する住所を入力すると、地図が移動するのが確認できる。

01



02

1-Click Publishを行って、アプリケーションの動作を確認する

01 緑色の①ボタンをクリックし、1-Click Publishを行う。

02 青の矢印ボタン（Open in Browser）をクリックし、ブラウザでアプリケーションを表示する。

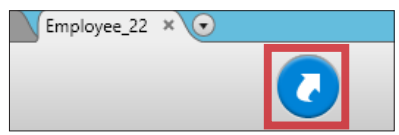
03 Employee_22アプリケーションのログイン画面が表示されたら、管理者ユーザでログインする。

04 以下の点を確認する。

- 詳細画面に地図が表示される。
- 実在する住所を入力し、正しく地図が表示される。

01

02



04